

◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：戸田の川を考える会（上戸田生き物調査プロジェクト）

23A-27

代表者：プロジェクトリーダー 長谷川 孝雄

URL :

1. 活動が必要とされた状況

戸田市は埼玉県の南東部に位置し、東京都と荒川で接している近郊都市です。市の西から南縁を通って東に荒川が流れ、市内の河川は全て荒川に通じています。

上戸田川は総延長約 1.9km の典型的な都市型河川で、上流部は河川整備事業が進行中ですが、下流部約 700m は改修工事が終了して運用されています。荒川からの導水や浄化施設の設置で水質改善に取り組んでいますが、BOD は 5mg/L 以上と高く、感潮域であるためヘドロ堆積が進行しています。このため、市民や子供たちは「汚い川」、「汚れた川」として近づこうとしません。当会では定期的に河川の浮きゴミ回収や周辺のごみ拾いを行っていますが、いまだにゴミを捨てる人があとを絶たないのが現状です。



市中央部を流れる上戸田川

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

このような上戸田川ですが、良く観察すると、春先にはボラの仔魚が群れを成し、川底にはカニも姿を見せ、これらを狙ってシラサギやカワウが飛来して、豊かな生態系を形成しています。

「上戸田川生き物調査」は、子供たちが自作したペットボトルのビンドウを約 700m の区間に 10m 間隔で設置し、捕獲した生物の種類、サイズ、個体数などを記録するというものです。調査には 50 名前後の子供たちを募集し、近隣の中学校生物部の生徒の協力を得て実施することとしました。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中学校は年度末から休校となり、市も通常通りには機能しなくなり、7 月に入って、本年度の「上戸田川の生き物調査」は中止しました。



ペットボトルで作ったビンドウ

3. 活動の成果

このような状況で、活動が行えなかったため、成果はありませんが、計画立案時に相談した市や中学校の先生方の理解は得られたと思います。

4. 今後に残された課題

コロナ禍という未経験の事態ではありましたが、実施に際してのリスク管理に問題があったと感じています。今回の活動における最大のネックは、大勢の子どもを集めた行事ということでした。真夏の炎天下の活動ということで、熱中症対策や交通事故等は考慮しておりましたが、多人数での活動自体が制約になるとは思いませんでした。

コロナがいつ収束するかが不確定な中、今後は、少人数での活動を中心とすべきと感じました。